TS
した俺の
親友が
になる
まで
メヤンデレ
餅は餅屋

小学生のとき
性別が変わった

おお…
なくなってる…

最初は気にして
なかった
女だろうが
男だろうが
俺は俺だって

キリシマくん
女子更衣室
使った!?

ヤダ!
～～

だけど

やだ
男だ!

ちんこ
見せて
みろよ!

まわりから見れば
自分は
"異端"なのだと
すぐにわかった

そんなとき――

ぎゅっ

くしゃ

性別なんて
関係ないよ

男だろうが
女だろうが
…っ
霧島雪人(きりしまゆきと)だから
僕は
友だちで
いたいんだ
ユキちゃんは
ユキちゃんだ
何も変わらない
そばにいて
くれたのは
リイチだけ
だった

それから
数年が経ち
お互い成長した
俺たちは――…
キーンコーン
――待て…っ
待ってってば
リイチ…！
ガタガタッ
おい…！
ここ学校だぞ!?
誰かに
見られたら…っ
うん…ごめんね
ユキちゃん
でも
我慢できなく
なっちゃって…
だからって…
クルッ
あ…っ♡

本当にごめんね…
でもこんなとき頼れるのはユキちゃんしかいなくて…
うんありがと…♡
…わかってるよ
もうガチガチ…
わかったからほらはやく挿れろ

——いつからか
俺たちは
セックスをするようになった
学校の空き教室で
親のいない家で
だけど俺たちの関係が
あの頃から変わってしまったわけじゃない

んぁっ♡
すぬるるるっ
ビクンッ
…ごめんね
いつもいつも
僕ばっかり
ユキちゃんを
頼っちゃって…
しゅん。
いや…いいよ
これくらい
はこっ♡
はこっ♡
だって俺たち
友だち
なんだから

キーン
コーン
カーン
霧島　雪人
きりしま　ゆきと
うおっ
あの娘おっぱい
でっけー
ばかっ
あの人アレだよ
元男って
噂の――
ぎっ!?
ぱー

え!?
アレって
都市伝説
じゃねえの!?
言われてみれば
見た目
男っぽいかも…
体は女だけど
心は男ってやつ？
うわー
カワイソー！

――相変わらず

成長しても
環境が変わっても
俺は〝異端〟のまま

男からも女からも
遠巻きにされていた

おはよう

西園 利一（にしぞの りいち）

そんな俺の
そばにいて
くれるのは――

ユキちゃん！

リイチ…

ほっ…

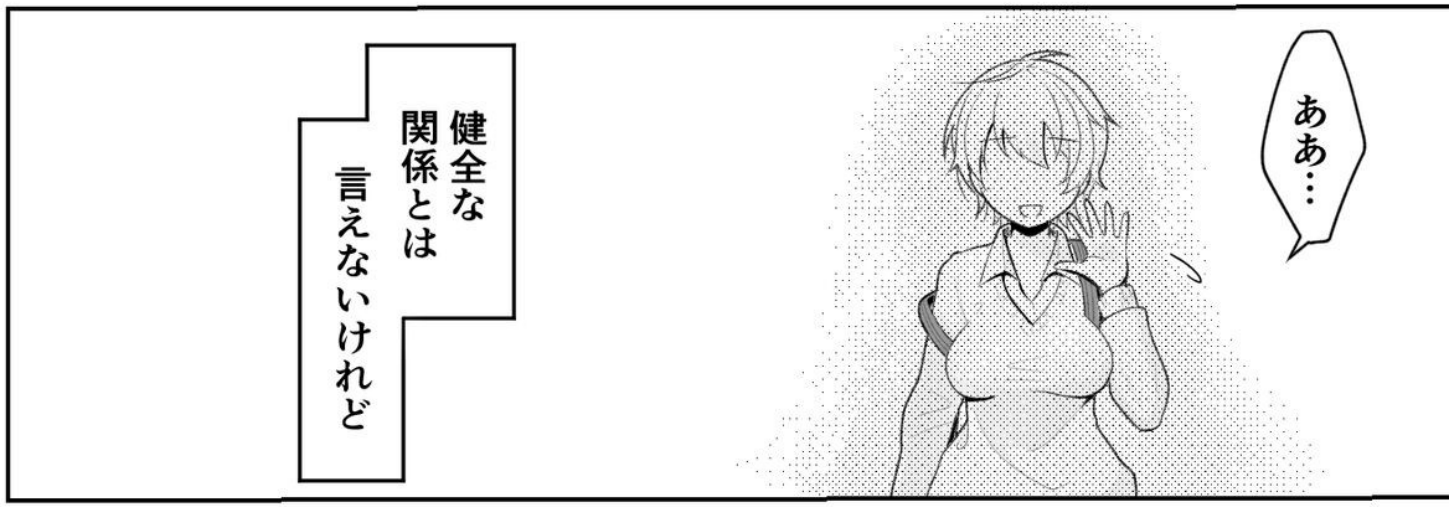
今も昔も
リイチだけだ

ねっ
今日も放課後
ユキちゃんち
行っていい？
英語の課題
いっしょに
やろうよ

ああ…そういや
明日提出だっけ
おすすめた

そうそう
それから――

今日ももちろん
親いないよね？
ボソッ
クイッ
そうよかったじゃあまた放課後ね！
ああ…っ
ああ…
ドキ

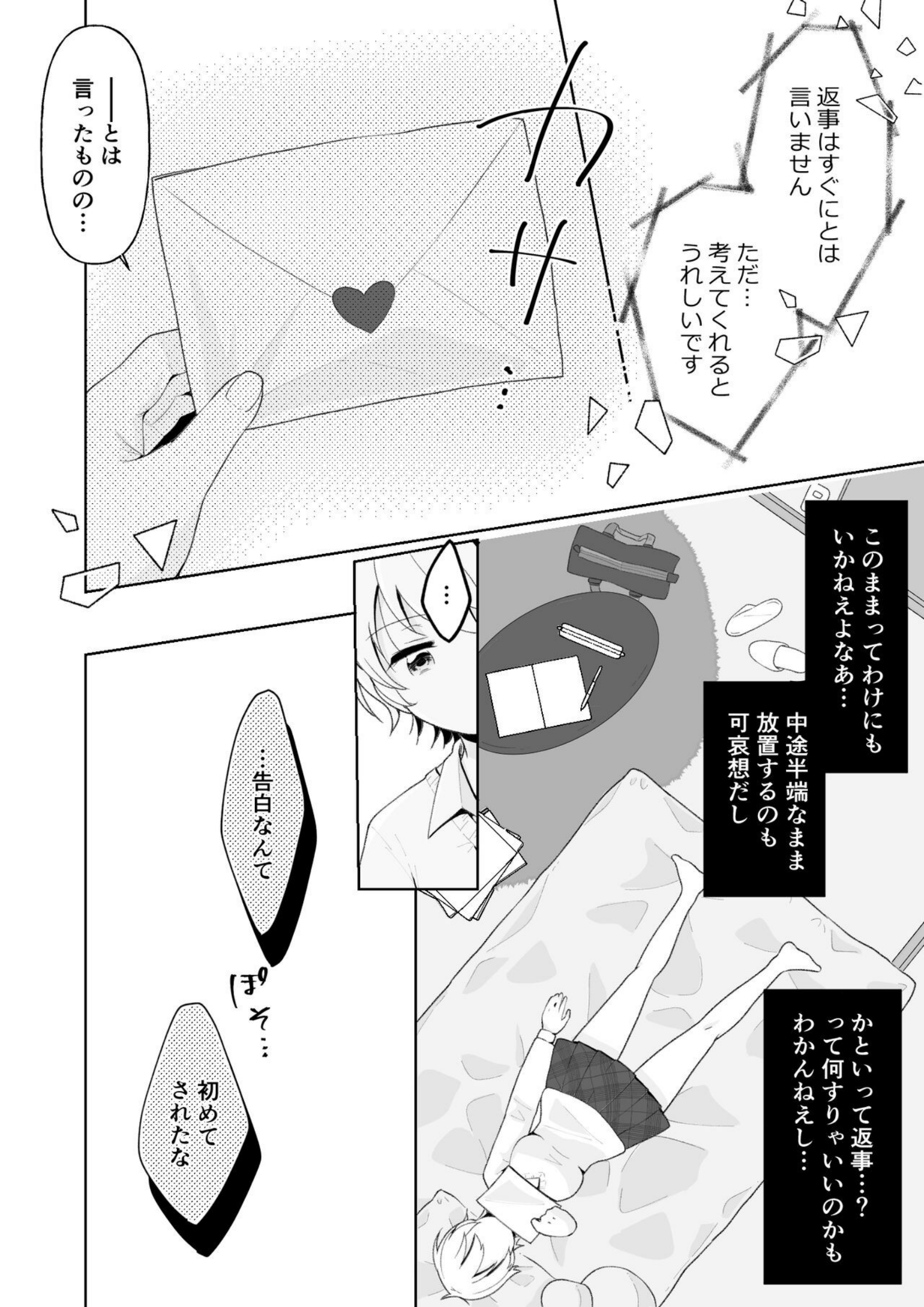

ああ…
健全な関係とは言えないけれど

あ、あの…！霧島雪人さん…っ！
ガヤガヤ
ザワ…

ん？
えーと…
誰？
ガーンッ
同じクラスの最上カナですっ
えっ!?
ご、ごめん…
えーと
最上…さん？俺に何か用？
女子に話かけられるの久しぶりだな…
ポッ
は、はい…！あの、えっと、私…！
好きですっ霧島さん！
私とお付き合いしてください！

…は？
ME？
はあああああああ!?
――私
性格がとろいせいで
クラスの女の子たちから
いじめられてたんです
それ以来
女の子なのに
かっこいい人だなあって
目で追うようになって
クラスでも
目立たない私を
ちゃんと見てくれる
人がいたんだって
うれしくて…
そんなとき
霧島さんが私を
かばってくれた
ことがあって…
そんなことあったっけ？

元男性だってことは知ってます！有名ですし…
で、でも俺女だぞ？
いや、正確には女って言っていいのかわかんねえけど…
だからなのか他人と距離を置いて過ごしていることも
ドキ。
でも！
性別なんて関係ないんです！
男だろうと女だろうと
霧島さんだから素敵で
霧島さんだから私はあなたを好きになったんです！


返事はすぐにとは
言いません
ただ…
考えてくれると
うれしいです
——とは
言ったものの…
このままってわけにも
いかねえよなあ…
中途半端なまま
放置するのも
可哀想だし
かといって返事…？
って何すりゃいいのかも
わかんねえし…
…
…告白なんて
ぼそ…
初めて
されたな

女になってから
誰かと付き合うなんて
考えたことなかった
こんな俺が
誰かに好きになって
もらえるなんて
だけど
今どき
ラブレターって
でも
…綺麗な字
性別なんて
関係ないんです——
…あんなこと
言ってくれる人
リイチ以外にも
いるんだな…

ガヤッ
僕がなんだって？
ビクゥッ!?!?
おおおおお!?
リ、リイチ!?
いつからそこに…っ
今来たところだよ？
ユキちゃんこそどうしたの？
そんなに慌てて
い、いや別に慌ててなんて…
…ユキちゃん
なあに、ソレ？
え…？
パリィッ
あっ！
コラ待て！
何を勝手にヒトのものを…！
えーとなになに
〝親愛なる霧島雪人さま〟……
読み上げるなー！

ラブレター…だよね？これ
いつ貰ったの？
き、今日…
最上さんって同じクラスの子だよね？仲良かったっけ
話してるとこ見たことないけど
まあ…ほぼ初対面みたいなもんだよ
ふうん…それなのにユキちゃんが好きとか言ってるんだなあ
…
…まあいいや
…!?ちょ、ちょっと待てよ！
どうせ断るんでしょ？捨てるよこんなもの
…待て？
なんで？
なんで…って…
アレ…？

なんだろう
リイチが

まさかユキちゃん
この子と付き合う
つもりなの？

そ、それは
まだわかんねえよ
知り合った
ばっかだし…

リイチが
こわい…

はあ…
やめときなよ
相手
女の子だよ？

女、
性別は関係ないだろ!?
俺自身がそもそも
性別ややこしいし…

それに…
いい機会でも
あるだろ

俺たちの関係を
見直す…

俺がこんなんだから…
おまえはずっと
そばにいてくれたけど
正直…いい関係性
ではないだろ？

この機会に俺も
リイチ離れして
お互いまともな
友人関係築いた方が
いいと思うんだ

こんな俺を
受け入れてくれる
やつなんて
リイチだけだと
思ってた

だけど
そんなことない

好きになって
くれる人はいるって
気付いたんだ

俺を〝俺〟として
見てくれる人は

俺が目を
逸らしていた
だけだって…

リイチには
本当に感謝してる
だからこそ

おまえを俺から
解放して
やらなきゃって――

リイチ…？

痛……ッ!!
何す…っ
おごっ
んんっっ!?
ちゅっ…ン…っ
ふ
んむ、ちゅるっ♡
ぢゅっ
ぐ…っん!
ぢゅるるっ
ぷはっ
つぅ…♡
なん…っ
なんだよいきなり…!
ぢゅぱっ
ぢゅぱっ
ぢゅぱっ
なんで
なんでそんなこと
言うの
はあ!?

なんで僕から離れるなんて言うの
僕以外の人間と関わるなんてなんで
り、リイチ…？
女の子に告白されたのがそんなにうれしかった？
だから今更男に戻りたくなっちゃったの？
さっきから何をワケわかんねえことを…！
いい加減にしろよ!?
性別なんていまさら関係ねーんだよ！
あるよ！
あるだろあるに決まってるじゃないか！
ユキちゃんは女の子なんだよ!?
僕の僕だけの…！

それを
ちゃんと
わからせて
あげる
ここが
ぬっ
ぬっ
ぬっ
あ
ま、待って
ぐちゅ
ソっ
ソっ
だめっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
やだっ
もうやだっ♡
それ以上ソコ
いじっちゃ…！
ぐちゅ
ぐちゅ
ぬっ♡
ぬっ♡
じゅぽっ♡
ぐちゅ
ぐちゅっ
ぐぽっ
ぐぽっ

やだ？
そう言うわりにナカ
ひくひくしてるけど
あっ
ひぅ…っ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
ヌチュッ
ビクッ
そ、んなの…っ
おまえがねちねち
弄るからだろ、ぉ…!?
ヌクッ♡
はっ♡
はっ♡
弄る前から
ぐちょぐちょ
だったじゃん
ふる
ふる
ほら
僕の指どんどん
飲み込んでく
とろ〜♡
ぶるっ♡
ぶるっ♡
ビクッ♡
おっ♡
女の子の大事なトコ
こんなに
ぐちゃぐちゃにしといて
イヤだなんて
そんなわけないよね？
ぐちゅっ♡
ずちゅっ
ずちゅっ
ぐちゅっ♡
はっ♡
はっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡

ここも
ぷっくり膨れて
弄りやすく
なってる
僕に触られるの
待ってたみたいだ♡
ビクッ
あっ♡
ここ
気持ちいいでしょ？
きもちーね？
僕が今まで
何度も
何度も何度も
弄ってあげた
ところだから
そう
そうだ
でも
まだ
イカせてあげない
そこもっと
強くされたら
それだけで
イッ……

ひっ?あ
ビクッ
ちゅっ
ちゅぅ
ビクッ
ビクッ
ちゅぅぅぅぅぅ
あっアあ〜〜っ♡♡
ビクッ

すご…
吸っても吸っても
あふれてくる
やめっ
入口吸われるの
弱いって知って…
ビクッ
ビクッ
あアッ♡

だ…め…!
普段こんなに
しつこくしないくせにっ
ソコ集中的に
責められたら
それだけで…っ♡
…っ!?
ビクッ
にこっ♡

あっ　イグッ♡
そこっ
それ以上するのは…っ♡
ぐちっ
ぐちゅっ
ズッ
ビクン
ぐちゅっ
……っ!?
ヒタッ
らめっ　ひっ♡
あっ♡
ちゅこちゅこするの…っ
あ♡　あ…っ♡
…っ〜〜〜〜!
ヒタッ

もう…っ！

なんなんだよ
さっきから…っ
何って何が？
だから…っ
わかるだろ!?
わかんないよ
ちゃんと言葉に
してくれなきゃ
ちゃんと…
ココで
イキたいって
言って
クリッ♡
ビクッ
んあっ♡!?
ぐちゅ
ぬちゅ
ぐちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅ
ぐちゅ
クンニでも
クリ責めでも
なんでもしてあげるよ
あぁ♡
ビクンッ♡
このまま指でイキたい？
それとも挿れられたい？
ユキちゃんの言う方法で
イカせてあげる
やっぱり
クリトリスが一番
反応いいな…
ンッ!?
クリ♡
クリ♡
きゅうう♡
女のペニスって
言うくらいだし
元男の子の
ユキちゃんには
ぴったりだね♡

やめろよ！
なんなんだよ
今日…っ！
ねちねちしつこいし…
それに男とか女とか
今までそんなこと
言わなかっただろ!?
なんでって…
言ったでしょ
ユキちゃんが
女のコだって
わからせるって
はあ!?
なんなんだよ
その言い方…
男とか女とか
俺がそう言われるの
嫌いだって
知ってるだろ!?
嫌い…ねえ
それなら
わっ!?

ニッ!?
すりすりんっ♡
な、何!?
にっ♡
そう思うなら
コレ
好きにしていいよ
ずりっ♡
ずりっ♡
僕は何も
しないから
…っ!?
どくん
女の子じゃ
ないんなら別に
どうも
思わないでしょ?
むしろ
気持ち悪い
くらいかな?
はー
はー
いっぱい
弄られたのに
最後までは
イケなくて
ぐっちょぐちょに
なったおまんこに
おちんぽ擦り
つけられても
はー
どくん
コレにどうにか
してほしいなんて
思わないよね?
にちゅ…っ♡
……っ

ははっ…♡
いいね 僕のちんぽ
ソレ 使って
オナニーしてる
みたいだ♡
スリ。
スリ。
挿れられるんじゃなくて
おまたシコシコして
ほしかったんだね♡
ごめんね♡
気づかなくて♡
ちが…！
これは俺の
意思じゃなくて…っ
どうして…!?
こんなことしたい
わけじゃないのに
腰が止まらない…っ
いつもなら…
いつもなら俺が
こんなになる前に
リイチがどうにか
してくれるのに…！
クリ
でもこのままじゃ
僕のほうが
物足りない…

くちっ…っ
なっ♡
どちゅんっ♡
ビクンッ
ぐりぐりぐりぐりっ
あ…っ?♡
ぎゅ
ぎゅ〜
お
ぎゅ〜〜
ヤバい
手カ☆
手カ☆
すごい
締め付け…っ♡
挿れられて
イッちゃったんだ
カワイ!!♡
でもまだまだ
これからだから
がんばって♡

あっあっ♡やめっ♡
まだイッてる♡♡
イッてるからぁっ♡♡
あはは♡すごい♡
連続でイッてる♡♡

待っへ…♡
いったん…っ
一旦止まって、
え…っ♡
嘘。
ユキちゃん
イッたばっかの
まんこを無理やり
突かれるの好きでしょ
ちゃんと
知ってるんだから
ほら、その証拠に
おちんぽぎゅーぎゅー
締め付けて
離してくれないじゃん
ちが…っ
ほんとにもう
無理ぃ…♡

ね
気持ちいいでしょ
僕だけがユキちゃんの
気持ちいいとこ
全部知ってるんだよ
ぬぽっ♡
どこ♡
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
お♡
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
お♡
ふかっ♡
ぢゅぽっ♡
僕だけが
ユキちゃんを
気持ちよくさせられる
ぬぽっ♡
あ♡
あ♡

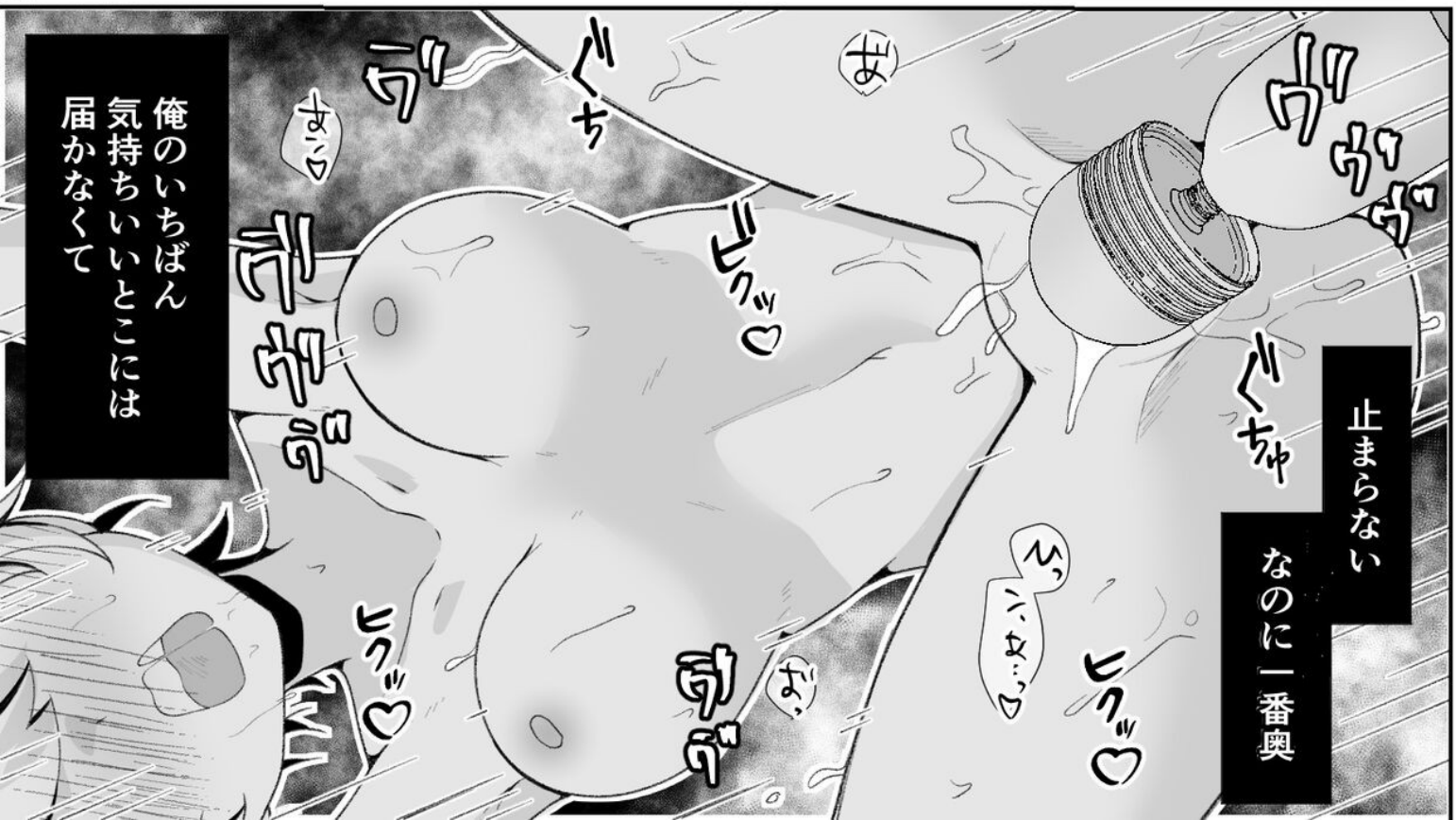
こうやって
ナカいっぱいに
広げて
いちばん奥を
突いて
あげられるのも
僕だけだ
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
あ♡
あ♡
あの娘には
できない

あの…娘…？
ほけ…
は！
は！

なんで……
最上さんは今……
関係ない……だろ……
——まだ
わからない
のか
ヴヴヴヴヴ
ビクンッ
あッ あぁあアッ
ひっ いぃあああ
ヴヴヴヴヴヴ
ビクンッ
きゅんっ
きゅんっ

やらっ♡
おねがっやめでっ♡
これっ♡
これホントにだめっ
イッぢゃうっ♡
だめなトコまで
イッぢゃう
がらぁっ♡♡
ウィーン
キュッ♡
キュッ♡

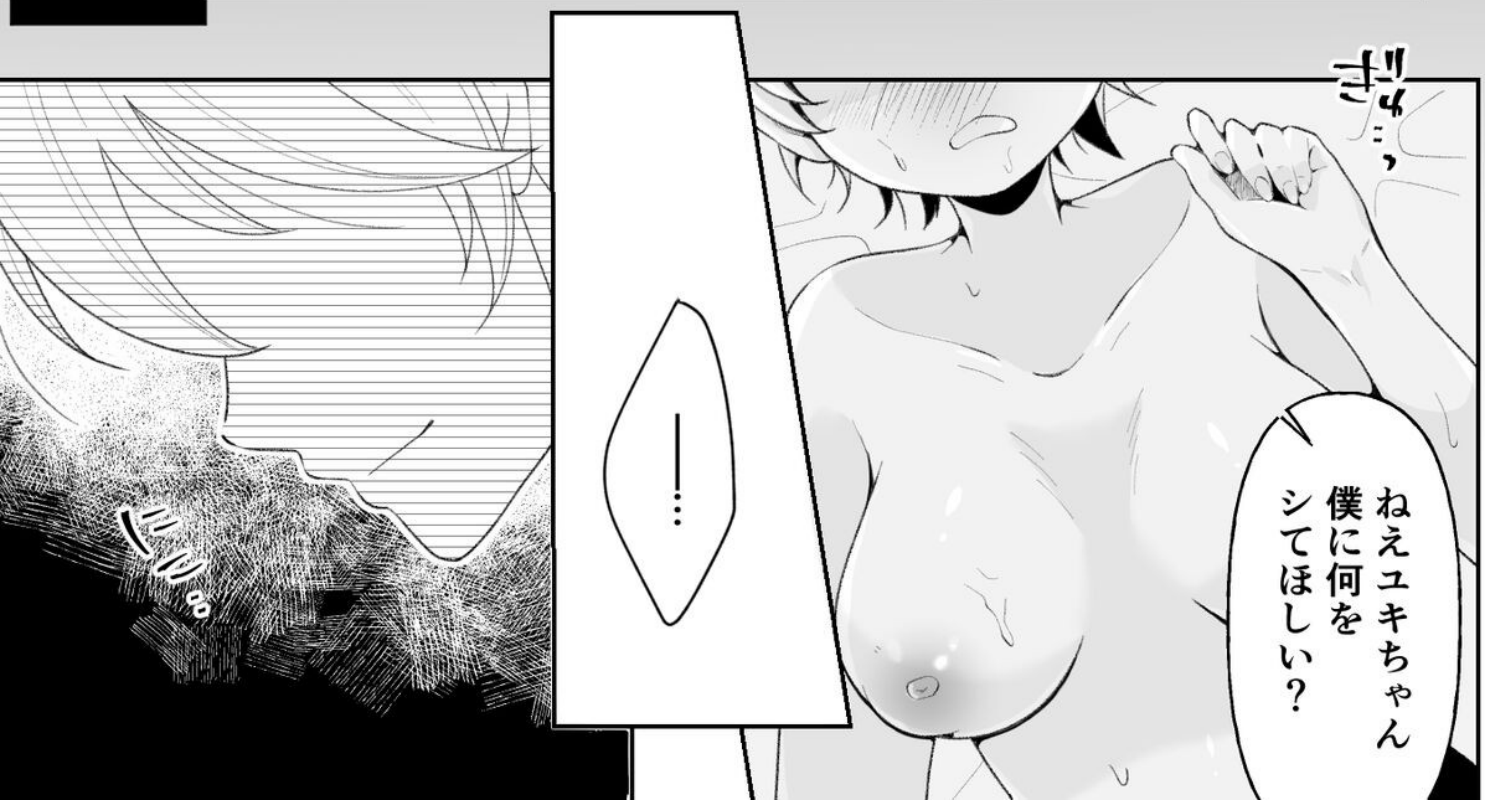
なに
これ
知らない
こんな気持ちいいの
知らない
はやくて細かい
動きが
俺の気持ちいいとこ
ずっと
ずっと刺激して
止まらない
止まってくれない
あ
ふっ
いっ
はあ


止まらない
なのに一番奥
俺のいちばん
気持ちいいとこには
届かなくて
ぐちゅ
ぐちゅ
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ウィーン
ウィーン
ウィーン
ふっ
こ、な…♡
お
お
おっ

もどかしい——
おれ
いま
何を——
…あれ
ユキちゃん？
あれ？
トンじゃった？
本当に
すごいんだねえ
玩具って
ずっと使って
みたかったんだよ
ユキちゃんが
どんな反応するか
見たかったし
いろんな女の子の
快感を
知ってほしかったから
クスッ
意外そうな
カオ
遠慮してたんだよ
これでも
ユキちゃんはゆっくり
女の子になればいいと
思ってたから
ゆっくり…
僕だけの女の子に

でも
ユキちゃんが男に
戻りたいって
言うんなら
僕から
離れてくつもりなら
もう遠慮はしない

――ああ　そうか
ねえ
僕はもっと
教えてあげられるよ
あの娘には
できないことを
シてあげられる
リイチはコレを
言わせたかった
のか…


ねえユキちゃん
僕に何を
シてほしい？
――…

とちゅ♡
とちゅ♡
奥とんとん
きもちーね？
ユキちゃん♡
ぐぽっ
きゅん♡
きゅん♡
ずぽっ♡
ドチュッ♡
おっおっ
おぐっ
ふがっ♡
あぁあぁっ♡
あぁ♡ドチュッ♡
しばっ
あぁ
ぐぽっ
ずちゅ♡
もっと教えて
ユキちゃんの
気持ちいいこと
僕にシて
ほしいこと
全部
全部僕が
叶えてあげる

――告白されたこと
〝俺〟を見てくれる人がいたことが
うれしかったのは本当
だけど一度知ったこの快楽を
女にしか味わえないこの感覚を
ちゅっ
ちゅぱっ♡
ぢゅっぢゅっ♡
ぱんっ♡
ずぽっ♡
ずぽっ♡
ぱんっ♡
ずぽっ♡
ずぽっ♡
ぢゅぽっ♡
ヒクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
あ゛
ア゛ッ

今更捨てるなんてできない――…

ちゅ
ぷはぁ…
…っ
ぽろっ
キーン
コーン
――あっ！

霧島さんっ！
あ、あのっ
ドキ
ドキ
もしよかったらお昼ごいっしょしませんか？
…
霧島さんってたしか購買派でしたよね――？
スッ
え…？

■ END ■